

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2014 April

04

Vol.573

03 【特集】いまブロック会が熱い!

本音が見える活動で真の学びを

06 21世紀型 自立型企业づくり

会社の未来を語れない経営者に
従業員が付いてくるものか

～自由化の波で危機感を持つ～

キューハイテック株式会社

09 食における中小企業の自立を助ける

連携の一つの形として「九州の食EXPO」

10 青年支部の結束力! 2014年フレンドシップフェスティバルへ向けて

11 ようこそ同友会へ

12 4月行事案内

14 自社商品・サービス紹介

15 第10回 理事会報告

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



キューハイテック株式会社

代表取締役

日高 美治 氏
(博多支部)

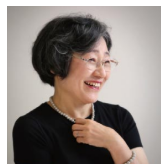
同友会だけの勉強では物足りない、学習大好きな日高美治氏は、亡父美明氏(博多支部)が残してくれた多額の借金を今期で完済するという。この負の遺産が私と会社を強くしてくれたのだと言う氏は、明るく前向きに自他共の成長の肥やしと捉えているのである。この間の精進は替えがたい報奨として間もなく喜びに変わるのだろうが、厳しい経営環境の中、岩崎専務をはじめ社員さん共々よく耐え抜いたものである。経営者になるには一朝一夕ではいかなないのだと改めて感じさせられる。同友会では経営者フォーラム委員長としてその準備に多忙な身なのである。亡父も父が与えた試練をよく乗り越えてくれたと心から喜び、誇りに思っていることでしょう。一層の健闘を期待いたします。 記事:小松 公範氏(博多支部)

今月の表紙

撮影:(有)アカシ
文章:菅原 弘(東支部)



「遺影」というとマイナスのイメージがありませんか。60歳未満お断りの人生最高の笑顔の写真『ライフフォト』。自然な会話から、いつしか『アユミワールド』へ引き込まれ、本人も驚く最高の作品が。ポストこと明石一矢さんとのコンビネーションも絶妙です。今日も元気に「イエ〜イ!」。(2012年富士営業写真コンテスト全国3位入賞)



「私の逸品」『ライフフォト』～「遺影」から「イエ〜イ!」へ～
有限会社アカシ(Photo Studio Vitamin) 代表取締役 坂本 香魚美 氏(東支部)

Information

ぜひご参加ください!!

中小企業家同友会全国協議会

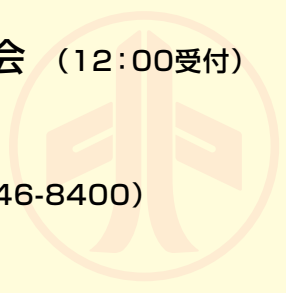
第46回 定時総会IN新潟のご案内

地域と日本の無限の未来を切り拓こう! ~ エネルギーシフトを中小企業の手で

日時 2014年7月10日(木) 13:00 全大会開会 (12:00受付)
~11日(金) 12:00終了

会場 朱鷺メッセ (新潟市中央区万代島6番1号 TEL025-246-8400)

参加費 20,000円 (宿泊・交通費別)



本音が見える活動で真の学びを

厳しい経営環境の中で、会員一人ひとりが日頃の活動をおし、お互い仲間として支え合い、緊密な関係を築くことが重要になってきます。少人数のブロック活動は、すべての会員が本音で語り合うことのできる身近な活動です。特に企業訪問では、参加者が社内や工場内の雰囲気も感じながら訪問先の会員の報告を聞くことで、経営課題が身近になり、自らの経営に照らして、課題解決に向けた意見交換を深めることができます。今回は、そんな企業訪問によるブロック活動を紹介します。

福岡同友会 ブロック活動の役割と機能

- 支部活動を補完するものとします
- “知り合い、学び合い、扶け合う” 日常的な交流の場
- 会の課題や方針を伝える場、会員の声を集約する場

(参照：組織機構改革検証特別委員会最終報告)

私は大丸拓郎と申しまして、父が営む株式会社大丸製作所の後継者として、日々精進しております。同友会青年支部に所属しており、歴は4年で、今期初めてブロック長をさせていただいております。

ブロック名は夢現ブロックと言います。現在支部会員が14名所属しております。夢現「むげん」と読み、経営者としての夢を現実にしよという意味と、可能性は無量大という二つの意味を込めて名付けました。私達のブロックでは、ブロック会で経営体験報告を必ず行うようにしています。何故なら、異業種の経営体験が自社経営への学びに最も繋がると私自身が考えているからです。7月のブロック会では私の会社に来ていただき、経営指針書の発表を行いました。そこでグループ討論を行い、8月の担当例会では経営指針書について学ぶ例会を

企画しました。例会後も企業訪問は時間の都合がつく限り行いました。ブロックメンバーで電車に乗って久留米の会員さんの企業を訪問した事もあります。会社を見て、会

員さんの訪問が難しい時は、パンフレットや会社案内を使って、経営体験報告を行っています。経営体験報告を行って毎回思う事は、経営者はそれぞれが違った



青年支部

夢現ブロック

ブロック長 **大丸 拓郎 氏**
(株式会社大丸製作所 後継者)

考え方や価値観がある中で四苦八苦して経営をしているという点です。そして、それぞれが抱えている問題はどの経営者にも共通しています。実際に報告の中でも、従業員さんとの関係や会社での組織作りについて悩んでいるという話をよく聞きました。これらの悩みを異業種の観点からアドバイスして、お互い学びを得る事ができるのが経営体験報告の最も素晴らしい点ではないでしょうか。

一年間のブロック活動も終盤に差し掛かってきました。これからも、お互いが刺激し合えるブロック作りを進めて行きます。



福友支部

スイッチオン Switch On ブロック

ブロック長

あんどう さゆり 氏
(株式会社クロスアビリティズ
代表取締役)

福友支部は6ブロックあり、そのうちの一つがSwitch On

ブロックです。

「今の自分がある」という変化や転機をもたらした瞬間のお話を伺い、参加した方が気づいていないかもしれないSwitch Onをより多くONにして、変化し続けていくように明るく元気に軽やかに動きのあるブロック運営を行ってききました。

年間9回(他、知る会担当2回、支部例会担当1回)、企業の立地やスペースの関係で別の場所で行うこともあります。基本は会社訪問です。

その場に行くことにより感じることでできる会社の雰囲気、社員さ

んとの交流、お話の内容があります。

事前に報告者の方をご訪問しインタビューをしたうえで、チラシの作成、告知を行っていきます。事前訪問はブロック例会の運営主旨などをご理解いただき、より良い例会作りを行うため、かかさず行ってきました。「友人の妹さんからの一言を聞いたときにこの仕事をしようと思った」というSwitch Onのお話もあります。例会は、ミニ支部例会の形で司会者をたて、ブロック長挨拶、近況報告、報告、質疑応答、会務報告と進めていきます。

報告者の方は例会のため、準備に時間も手間もかかります。しか

西支部

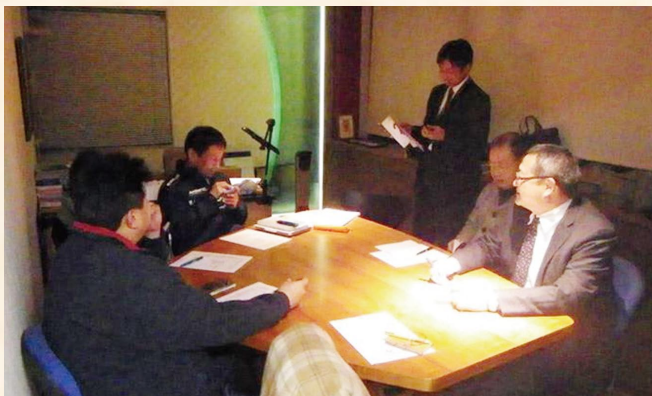
アメーバ Ameba ブロック

副ブロック長

いけだ ひろこ 氏
(池田社会保険労務士事務所
社会保険労務士)

青年支部から移籍したブロック長がアメーバのごとく柔軟に形を変えながら大きくなろうと名づけたブロック名。若きブロック長の元

し、ご依頼した皆さんには心よく受けていただきました。「自分を振り返る良いチャンスをとってのSwitch Onです」と言ってくださいる方もおられ、こちらが恐縮します。懇親会でも司会を立て、交流もすることながら、報告者の方へ参加者一人ひとりがお礼と感想・質問をお伝えする時間を設けています。参加いただいた方々に今回の報告をふりかえり、自社へ置き換えて考えていただけたのではないかと思います。



で、実にまじめにそして楽しく活動
しています。

活動の基本は会員企業訪問。その
プログラムは、①支部長または担当
副支部長あいさつ ②出席者近況報
告 ③連絡事項として役員会報告・
理事会報告等 ④訪問企業の会員の
報告、それに対するQ&A、そして見
学、全部で2時間。日頃同友会で会
う会員の会社での顔を見ることがで
きます。報告内容は、経歴・仕事・業
界・業績・悩み等々多岐にわたります。
記憶に残ったエピソードを3つ
紹介します。①会社の業績をグラフ
に表し、厳しい状況を話すのを聞いた
新入会員がそこまで話すの！と驚い

ていたこと。②ある会員が経営計
画発表に参加していない中途採用の
社員を出席させて短縮版発表会を
再現したこと。③会社見学の際に、
足の踏み場もない物置状態の未使用
のフロアや片付いてない倉庫を見て、
皆が口々に「こりゃいかんだろう！」
と意見したこと。

訪問するたびに大いに刺激を受け
ています。そして10ヶ月後に厳しい
指摘を受けた会員から、「今日1日
仕事をしないで片付けをしよう！」
と社員全員で片付けたという報告が
あったときには、皆で拍手喜びま
した。同友会はいい会だなあと再認
識した瞬間でした。

ブロック例会のこだわり!!

福友支部 支部長 なかじま かつみ
中島 克海

(株式会社グッド・サポート 代表取締役)

福友支部ではブロック例会は会
員交流の最大の効果のある場と
考えます

ブロック役員との結束の場でもあり
次期の人材育成の場でもあります

① 目的↓会員間の学びと親睦

福友では学びなきブロック例会
はブロック例会とは認めており
ません。必ず企業訪問が必須と
なっております。

② 企業訪問

企業訪問を通して

○訪問企業側

↓自社のプレゼンを行う
資料を作成する事から自社の見
直し・自社のPR・訪問企業側から
の情報提供(会員企業に役立つ情
報。例えば、社長の為の保険講座
など役に立つ事を提供する)

※ここでのブロック役員の役割

↓資料作成のアドバイス

・来社していただく会員の皆さんへ、
訪問企業から何を学んでほしいか
を必ず決める↓目的のない訪問は
効果を半減させる

・訪問企業のより効果的なPRが

出来る資料作りを手伝う↓売るで
はなく伝えるを中心に考える

○訪問する側↓異業種から学ぶ
同友会は異業種の団体。同業種
では気づかない事が異業種から学
ぶ事は多い。

③ 懇親会

親睦を図る事から学びだけでは
なく楽しいを得る

④ スケジュール

ブロック例会は毎月行い、年に
2度は知る会と位置付ける
ブロックとして仲間づくりを重
要課題と認識していただく
↓ブロックが担当する事でゲスト
招待の意識が高まる

まとめ

同友会活動の中で最も親睦をは
かれ学べる場です。異業種から学
べる事は多く自社の業界にはない
ヒントを得る事ができます。また、
ブロック例会を年間を通して12回
行う事から行事を企画する発想が
豊かになります。福友支部では知
る会もブロック例会の一環として
位置づけブロックをあげて新会員
さんを増やす努力をしております。
ブロック内でベテランの会員さん
と新しい会員さんが交流する事
からブロック発展へとつながると
考えます。

会社の未来を語れない経営者に 従業員が付いてくるものか 自由化の波で危機感を持つ

「債務超過という言葉を知っていれば後は継がなかつたかも知れませぬね」と話すキューハイテック(株)社長・日高美治さんと同友会の元気印・日高さんが今まで封印していた経緯を初取材です。



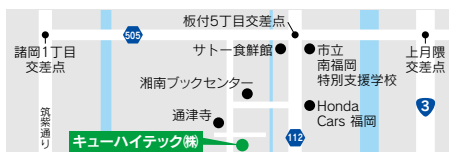
キューハイテック株式会社

代表取締役

ひだか よしはる
日高 美治 氏

博多支部

創業 1970年
住所 福岡市博多区板付6-3-32
電話 092-582-9001
社員 40名 パート 5名
<http://www.kyuhai-tech.co.jp>



会社の沿革

昭和43年父親の美明さんが福岡市柳町に西部ガス指定工事店「明邦商会」として創業しました。ガス工事に特化した事業を展開していきました。46年には九配工業(株)として法人化、61年には現在の博多区板付に移転、平成21年にはキューハイテック(株)と改称しています。

大手業者の指定工事店と言っても、下請け・孫請けには変わらぬ経営は決して楽ではありませんでした。指定工事店の中でも統廃合が進み、福岡都市圏においても8社あった工事業者も現在ではキューハイテックと、もう1社の工事業者の2社体制になっています。

取材 広報部会
文章 菅原 弘(東支部)
写真 船木 治(中央支部)



毎月開催している社内勉強会ではグループ討論で活発な討議

2代目社長に就任

日高美治さんは昭和39年生まれで今年ちょうど50歳を迎えられます。学生の頃から会社の後を次ぐことは考えていませんでしたので、大学を卒業して大手製薬会社に勤めました。「夜討ち朝駆け何のその」と営業に頑張っていました。そんな中、会社の業績悪化、社内からの後継者がいないことで、専務さんから

懇願され平成5年同社に入社します。ところが翌年、父親である先代社長が交通事故で急逝してしまいます。業界の掌握や仕事のノウハウ修得もまだできていない矢先の出来事でした。即時2代目社長に就任です。そこで多額の借金に向き合うことになりました。「経営が苦しいことは感じていました。持ち前のバイタリテイで何とかなるだろうと思っていたんですが、何ともならないんですね。あの時『債務超過』という言葉を知っていたら後を継がなかったかも知れませんね。本当に無知でした。」と当時を振り返ります。借金を残して逝ってしまった先代社長。自分のせいで借金を創ったのではなし、人材や環境など悪いのは他人のせいにしていました。当然、社内でのコミュニケーションがうまくいくはずがありませんでした。「何でもあるのが当たり前の大企業、ないのが当たり前の中小企業」の現実に直面したわけです。

もう銀行にコントロールされる会社になってしまおう」と絶望感に陥りました。この時、平成6年から20年間で返済する計画が立案されました。

**事業立て直しに
取り掛かる**

従来ガス業界は法律で守られ新規参入が難しいとされてきました。しかし近年、エネルギーの自由化の波が押し寄せて、都市ガス工事のよりにクローズドマーケットとされていた市場でも自由化が進むであろうと目されています。

「環境の変化に伴う方向転換をしなければならぬ。ただ大手からの仕事を待つコバンザメではなく、自分で仕事を取りに行かなければいけないと思います」。そんな日高さんの姿勢を読み取ったのか、銀行から出向で来ていた常務(故人)が「斤道切符」、つまり銀行を早めに退職し同社の再建のために正式に社員となってくれました。

まず手始めに取り組んだのが、従来の仕事の見直し、営業や施工の品質を上げること。それには、人材育成が欠かせません。社員教育の大切さと同時に、自分自身が社長としてたくさんのことを学び、社内に活かすこと。ここから始めました。また、業者間取引だけではなく、エンドユーザーへのアプローチも行いました。設備サービス部門を設け一般住宅のキッチン・浴室・トイレ等の水回りのリフォームに取り組みました。住宅・店舗の給排水工事業や、ガス給湯器やさらに電気式給湯器の取り換え工事など、仕事を取りに行くだけでなく、仕事を自分で創りだすことにも取り組みました。

ビジョンが持てない

何とか業績が上向きになって来た頃、ある経営セミナーで『中期経営計画』を作成することになりました。そのセミナーで日高さんは講師にこう質問しました。「日々の厳しい価格競争の中で、せいぜい1年くらいのビジョンは持っても、3年後・5年後はどうなるかわかりません」。するとその講師はこう返してきたそうです。「3年後・5年後の夢やビジョンを語れない経営者に従業員が付いてくると思っているのですか」これには言葉が出なかったそうです。今まで目先のことしか考えることができませんでした。いつ自己破産するだろうかと、会社は潰れるだろうか。恐怖感がいつもつきまとっていました。本気になって社員さんのことを考えたことはあっただろうか。企業が存在しているのは、世の中



ガス配管工事の様子

のため、社員さんのために役に立っているからです。先代社長の思いや社員さんの思いがやっとその時理解できるようになったと言います。

理念の徹底

しかしながら、経営理念を創ったからと言って、簡単には社員さんとのコミュニケーションはうまくいきません。地道に経営理念を語り、自分の言葉にして社員さんと向き合いながら、自分自身の理念やビジョンを確立させ、浸透させていきました。

現在、同社では経営指針書は日高さんが方針を示し、各部門で具体的な取り組みを決めています。その中で日高さんが特に力を入れているのは「お客様の喜びが我が社の喜びです」という同社の経営理念に代表されるキューハイテック経営コンセプトの浸透です。施工現場で働いていると、真のお客様の顔が見えませんが、しかしその工事によって暮らしが豊かになり喜んでくださる方がいることを忘れてはならないと常々言っています。こうした経営活動を繰り返す中で、経営実績も着実に推移し、父親の死去に伴って銀行から強いられた20年前の借入金は、平成26年の今年に借金完済するようになりました。振り返ってみると、事業のころなど何もわからなかった後継者が、いつの間にか先代よりも社長として会社に関わった時間が長くなるうとしていました。

同友会との関わり

同友会には先代の勧めで後継者大学(当時)を受講したのがきっかけで青年支部に入会しました。当時の青年支部の先輩方を見て「みなさん人前でよく話ができるなあ」という印象を持ったと言います。支部例会や県の活動にも積極的に

参加し、青年支部の大イベント『フレンドシップフェスティバル』でも支部の仲間と一緒に取り組みました。青年支部の支部長も経験され、40歳で青年支部を卒業し、その後博多支部に移り、その頃立ち上げた福岡地区会では副幹事を務めました。最近参加した同友会の新卒採用合同企業説明会では、自らブースに入ることなく、社員さんに任せられるようになっていました。「一緒に働くのは彼らだからです。自分たちが欲しいと思っただ人財がどんな人財なのか、自分で考えるようになればそれが真の人財育成ですし、それをさせるのが経営者の覚悟だと思っています」。また経営者として学ぶことがあれば、積極的に同友会以外の勉強会にも参加し、経営知識の幅を広げるように心がけているそうです。

26年度はフォーラム委員長を任されることになりました。「会員の皆さんにきつと満足していただくだけ」を期待していただく」と意気軒高に話します。

自立した社員が集まる会社

いろんな人財育成手法を取り入れている同社では毎月社員さんの

席替えをしています。これは外部環境の変化に対応する感覚を鍛えるためです。部門ごとのコミュニケーションはもちろんのこと、全体のコミュニケーションを大切に。小規模企業だからこそ、多少席が離れていてもお互いのコミュニケーションは取れるものです。

人財育成の一つとして、経営に関するテキスト本を配布してその内容について事前に全員レポートを書いてもらい、日高さんがそのレポートにコメントを付けて返却しています。そして月に一度グループディスカッションによる勉強会を開催しているそうです。現在では、レポートは社員さん同士でコメントを書いてもらうようにして、相互理解に役立てています。

毎朝の朝礼で行っている社員全員とのハイタッチや、女性の社会進出をサポートする「子育て支援企業宣言」など、同友会の勉強会から学んだことも積極的に自社に活かそうとしておられます。

取材の最後に日高さんの考える自立型企業について伺いました。「自立した社員が集まる会社です」と即答でした。「どんな外部環境・経営環境においても、真の自立した社員さんの集まりであれば対応できます。そんな会社になりたいです。」取材協力ありがとうございました。

食における中小企業の自立を助ける

連携の新しい形として「九州の食EXPO」

サン・フカヤ有限公司

代表取締役

舩木 治

(FASTプロデューサー／中央支部)



2月10日・11日の2日間にまたがって開催された「九州の食EXPO」開会式

1. 食の分野での企業の自立とネットワークづくり

商品開発・販路開拓には大きなハードルがあります。企業連携推進委員会FASTの中でも、食に関するメンバーで「食の芽組み」というプロジェクトを立ち上げ、勉強会を開いていました。そんな中、以前からFASTを応援していただいている経済産業局松田課長から、一緒に勉強会を開きましょうと声をいただき、「九州の食」(Facebook)のグループ)の活動が始まりました。九州の食に関係する生産者や食品加工業者、フードコーディネーター、調理人、野菜ソムリエ、コンサルタント、販売関係者・消費者など多様なメンバーが加わり、九州の食材を使ったレシピ作りやセミナーなどを開催してきました。食の分野でも、九州には素晴らしい農産物や魚介類、肉類などや食品が豊富にあります。けれども、まだまだ企業の規模が小さく、開発の費用、商品デザイン、ロット数、販路開拓などの課題があり、その良

さを発信できていないものが多いようです。食における中小企業の自立を助けることが、新たな雇用を生み出し、地域社会を元気にするという意味で、九州の食が目指すものは中小企業憲章と同じだと感じています。そういう意味で、情報交換や交流の場をつくり、企業が自立するための機会を増やすことが重要だと感じていました。

2. 九州の食EXPO開催

生産者・食品加工業者とバイヤー・消費者を繋ぐ場づくりを目指して、昨年の9月、展示商談会の開催を計画しました。国の展示商談会への補助金を活用することにしましたが、九州の食グループは任意団体だったため、士業のネットワーク「九州志士の会」と連携し、支援団体として共同で実行委員会を立ち上げスタートしました。11月の最初に補助金事業が採択され、20日過ぎに出展者の募集を始めました。12月の最初は11社程度でしたが、20日過ぎには出展募集数80社に対し2倍近い140社を超える応募がありました。スタッフのほとんどが展示商談会の経験がなく、西日本総合展示場の方や経済産業局をはじめ、多くの方と相談しながら準備作業を進めました。いちばん課題だったのがバイヤー集めです。初めての展示商談会なのでバイヤーの

方も半信半疑でした。しかし、出展者リストを見せて説明すると商談会に初参加という出展者が多く、かえって関心を持たれる事が多くなりました。また、九州の百貨店やスーパーのほとんどに連絡しイベントの案内をしました。参加したいという回答が多く、予約商談のスケジュールも埋めることができました。

行き届かないところも多かったですが、出展156社、2日間の来場者は12,510名でした。アンケートには出展者もバイヤーの方も、次もぜひ開催してほしいという意見が多く、実行委員会としても大変な勉強をすることができたと思っております。



2日目は一般の消費者向け展示販売会も行われ会場は賑わいました。

青年支部の結束力！ 2014年フレンドシップフェスティバルへ向けて

青年支部 支部長 おがた やすゆき
緒方 康幸



昨年開催されたフレンドシップフェスティバル 青年支部と作業所の皆さん

2014年4月13日、日曜日朝10時に福岡市役所前広場にて第19回フレンドシップフェスティバルが開催されます。

このイベントは我々、福岡県中小企業家同友会青年支部が社会貢献の一環として、ハンディキャップを持った方々が日々活動されている作業所を支援することを目的として毎年開催しているイベントです。

このイベントは社会貢献としてとらえるだけではなく、青年支部の結束力を強めるための大変重要な目的であると考えています。

また、同友会活動を一人でも多くの方に知ってもらうための活動でもあります。

青年支部では40歳で卒業という現実があります。しかしながら卒業された先輩はもちろんのこと、毎年同じ福岡県中小企業家同友会の会員の皆様より多大なるご支援をいただいております。

今年度、青年支部はおかげさまでもちまして支部創立35周年という節目の年を迎えることができました。今一度原点に立ち返り一人の経営者として出来ることから考えてみました。



青年支部歴代支部長の皆さん

昨年11月9日にソラリア西鉄ホテルにて開催させていただきました青年支部創立35周年記念パーティーでは、代表理事をはじめ県内外の支部役員、会員の皆様、全国の青年部の仲間（東京、埼玉、大阪、山口、北九州、熊本）そして我が青年支部の沢山の歴代支部長の方々、

卒業された先輩方に駆け付けていただき一緒に祝っていただくことができました。当日の会場ではみなさんがそれぞれに青年支部についての思い出を語り合い、支部の垣根を越えてまるで同窓会のような雰囲気での終始会場は賑わっておりました。

私たち、現青年支部会員はこの中で、先輩方また多くの方々との支部活動について振り返ることで自身の経営課題について見つめなおすことができた良い機会でもありました。

そして私たちは青年支部に毎年新たに加わり続けていく仲間たちに、今後どのようにして、この思いを分かち合えるようになっていくのか？

そう考えたとき支部会員同士の強い結束が必要であり、その結束を作るために1年を通してこの大きな目標であるフレンドシップフェスティバルの開催があるのです。

地域と共に歩む中小企業を目指す同友会理念の実践に向けて本年も我々青年支部会員一人ひとりのアイデアと実行力を束にしてこのフレンドシップフェスティバルの盛会に向けて挑みます。同友会会員の皆様におかれましてもどうかこのイベント成功のためにお力添えをよろしくお願いいたします。

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

同友会へ
ようこそ



新日本総合鑑定株式会社

不動産の鑑定 &
不動産の売買・相続など
様々な問題を解決します

福岡市中央区大名2-10-2
シャンボール大名B201
TEL 092-741-0855
<http://sns-kantei.com>

代表取締役 いしだ みきこ 石田 美紀子 (福博支部)

平成25年7月に秋吉公認会計士事務所の秋吉様からのご紹介で入会しました。約20年間この会社に従業員として勤務し、平成24年に事業承継を受け経営者となりました。これから例会等に積極的に参加して、諸先輩方から経営のノウハウを学び、従業員そしてお客様に慕われる経営者として成長していきたいと思っています。皆様ご指導のほどよろしくお願いたします。



株式会社 サロンドステラ

電解還元水(水素水)生成器、
強電解水生成器家庭用・業務用の販売。
健康美容のための食生活改善セミナー、
人材育成セミナー開催。

福岡市中央区渡辺通2-7-11-201
TEL 092-712-5169
<http://sns-kantei.com>

代表取締役 はたしま みおこ 畑島 美織子 (博多支部)

(有)ソフト企画の阿部社長のご紹介で入会しました。例会では体験経験に基づく内容で気付く事あり参考にさせていただいています。私共は現代人が健康で心豊かに美しくあるための原点は口に入れる物の質を意識して摂ることだと思います。中でも注目しなければならない身体の3分の2を占める水分を上質の水に変えることが健康への第一段階です。目標達成には心身共に穏やかで豊かであることです。健康と美容に関することお電話ください。



ふくろう不動産販売株式会社

マンション販売業。
新築マンションは販売代理業として
中古マンションはリノベ・仲介等。

福岡市中央区薬院3-16-27 6F
TEL 092-534-2960
<http://www.fukurou-fd.jp>

代表取締役 ふくぞえ けんいち 福添 建一 (南支部)

新築マンション販売を中心に、不動産の販売業を行っております。15年以上の経験をへて2011年に創業しました。同友会ではあすなろ塾を受講し、経営指針書をつくりました。私は不器用で表現がなかなかうまくありませんが、人とのめぐり逢いに大変恵まれており、名前の元、『福』がついています。私にかかわる方だけでも、しあわせ=『福』を作り出していく福を添える仕事をしていきたいと考えております。



新堀徹司法書士事務所

相続、遺言、不動産取引等の
不動産登記。商業、法人登記。
国際民事務務。

福岡市中央区大手門1-8-8
ベイサージュ大手門3F
TEL 092-791-2659
<http://shinburi-office.com/>

代表者 しんぼり とおる 新堀 徹 (南支部)

同友会では、言葉を濁さずストレートにご指導してくださる素晴らしい先輩経営者方、仲間達に出会えて毎回勉強させていただいております。経営初心者の私にとってはまさに経営者の学校と思っております。当事務所のモットーは『シンプルにわかりやすく』難解な法律用語、解釈をシンプルにわかりやすく皆様にご提供できるように日々心がけております。『不動産登記』『相続』『企業法務』『国際関係業務』等、ご用命の際はお気軽にお声かけください。

17 木 18:00~21:00

第110回 新会員
フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

17 木 18:00~21:00

福友支部
4月例会

100年企業の弱点と挑戦(仮)

■ TKP天神シティセンター
福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
■ 中村 正昭氏 株式会社中村タイル商会 代表取締役(福友支部)
■ 鹿田 和正氏 株式会社鹿田産業 常務取締役(福友支部)

経営者の頭にあるイメージをいかに数値や言葉として紙に落とすか、又、経営指針の中で数字の流れの作成、経営者の思いの落とし込みを学ぶ例会とします。また、経営指針書をどう会社で活用していくかについても同時に学ぶ例会とします。

17 木 18:30~21:00

中央支部
4月例会

流通加工業で主体性を持ち安定した利益を上げ続けるための試行錯誤の13年間

■ TKP天神シティセンター
福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
■ 小河 雅道氏 有限会社オゴウ・コントラクト 取締役社長(中央支部)

創業13年。放火による会社全焼や震災等による影響と本社移転。さまざまな苦悩や試行錯誤の中で現在の体制になり、数多くいるパートさんに自社の理念を浸透させ、より良い商品を作りだすこと、お客様からの信頼を得て、社員55名(パート50名含)・在宅スタッフ50名の会社に成長しました。現在もトップに立ち、今後の会社運営のビジョンを描き続ける小河氏であります。

17 木 18:20~21:00

筑紫支部
4月例会

ブランド化を目指す5つの問いかけ

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ 久保山 宏氏 スタートアップ・プランニング 代表

築上郡上毛町での「ブランド創造IP」の一員としての経験を踏まえながら、どのようにして、村の生産者が、自らの製品の「セールスポイント」を発見し、他業種と協働して、成功してきたのかについて、話していただきます。

18 金 18:30~21:00

筑豊支部・嘉飯支部
合同4月例会

よくわかる しげノミクスとその効果
社長に就任した今伝えたいこの熱意と野望

■ パドドウ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■ 重松 和孝氏 有限会社コンサルティングオフィス 代表取締役社長(嘉飯支部)

『社長就任ドタバタ劇』と、就任した今だからこそ伝えたい企業人としての熱い思い、そして保険業界への挑戦。本当にお客様の「安心」に役立つ保険業者とは？保険業界全体の再編を画策し、業界の枠を超えた大きな組織体で取り組んでいく必要性…など、新米社長が描く想いを報告していただきます。

22 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST4月例会

心の交響社会に向けて
福岡のこれからの考えるために備えるべきこと

■ 福岡県中小企業振興センター 2階大ホールC 福岡市博多区吉塚本町9-15
■ 佐貫 利雄氏 佐貫研究所 所長

このたびは湯本先生のご紹介を頂きまして、多くの俊秀を育てられました都市工学と経済の達人であり、伝説のエコノミストと言われております佐貫先生に「福岡の元気をさらに伸ばす」内容のお話をお聞きしたいと思います。

講演目次
1、エネルギー問題と危機管理 2、少子高齢化の衝撃 3、先端技術革新
4、九州の人的資源 5、都市間競争と都市の盛衰 6、心の交響社会に向けて



福岡県中小企業家同友会 第52回 定期総会のご案内

「全社一丸」の強じんな企業づくり ～労使見解の学びを深め、人を生かす経営の実践を！～

基 調 講 演



『人を生かす経営』で、未来を拓く ～情勢を見極め、企業変革と戦略を～

講 師 株式会社宮崎本店 代表取締役 宮崎 由至 氏

[三重県中小企業家同友会相談役 / 中小企業家同友会全国協議会副会長・人を生かす経営推進協議会代表]

日時 2014年4月25日(金) 14:30開会 (14:00受付)

会場 のがみプレジデントホテル (飯塚市新立岩12-37市役所横 TEL0948-22-3840)

[第1部] 14:30~15:00 総会表彰 [第2部] 17:15~18:15 記念講演
15:00~17:00 総会議事 [第3部] 18:30~20:00 交流会(参加費5千円)

定期総会のご案内は、毎月発送の月刊同友と一緒に同封、またはFAXでいたします。出欠のご回答をお願いいたします。また、ご欠席される場合は委任状のご提出をお願いいたします。

4月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

8日 16:00~18:00

ソーシャルビジネス委員会
4月オープン例会

自社のSB報告会(仮)

- 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530
 - 大串 和義氏 大串公認会計士税理士事務所 代表者(南支部)
「障がい者が活き活き暮らせるコミュニティづくりへの取り組み」
 - 富山 博史氏 株式会社カンカングループ 代表取締役副社長(大牟田支部)
「大牟田ベンチャービルプロジェクト~寂れ行く街大牟田で今できる事~」
- ソーシャルビジネスの学びから、自社の社会性・革新性・事業性の変化を報告していただきます。

13日 10:00~16:00

青年支部
福岡フレンドシップ
フェスティバル2014

- 福岡市役所前広場 福岡市中央区天神1-8-1 ☎092-686-1234(同友会事務局)
- 「福岡フレンドシップフェスティバル」は作業所という、身体にハンディキャップを持った仲間達が一生懸命働いている施設があることをより多くの方々に知っていただくためのイベントです。

15日 18:30~21:00

かすや支部
4月例会

企業間連携でつぶれない会社づくりを 小規模企業だからこそ、真(まこと)の連携

- 志免町生涯学習館 中会議室
糟屋郡志免町志免中央1-3-2(1号館) ☎092-935-1003
 - 春田 統一氏 株式会社春田建設 代表取締役(嘉飯支部)
- 「大企業でないと出来ない」、「なんとなく集まって解決しよう」といった取り組みではなく、真(まこと)の連携は実際に「結果を創出できる連携」です。報告では、自社の問題の洗い出しから、スケジュールの立て方、連携で陥りやすい失敗例、施策の活用などをお話しいたします。

15日 18:30~21:00

北九州支部
4月例会

事業承継は父と子の大事な 事業承継の成功が、その後の飛躍をつくる

- KMMビル4F 第4会議室
北九州市小倉北区浅野2-14-1 ☎093-551-4101
 - 清家 政彦氏 セイワシステム株式会社 代表取締役(南支部)
- 永續する企業が必ず乗り越えなければならない事業承継問題を取り上げることで、現役経営者と後継者それぞれの立場で永續企業づくりについて考える機会を持ち、自社経営の変革をもたらすことを目的に開催します。

15日 18:30~21:00

玄海支部
4月例会

笑顔と元気のある職場づくり 社員がやる気になって結果を出せる職場にするには

- 都久志会館 4F 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
 - 黒木 義彦氏 株式会社黒木建設 代表取締役社長(玄海支部)
 - 荒牧 錠司氏 有限会社サンケイフーズ 代表取締役(玄海支部)
 - 平田 誉成氏 有限会社アイケン 代表取締役(玄海支部)
 - 福田憲太郎氏 福田土地家屋調査士事務所 代表者(玄海支部)
- 元気と笑顔のある職場を作りたいと願うのは、経営者なら皆考えます。その為には社員が常にやる気になって結果を出せる職場にしなければなりません。では、その為に経営者は何をすべきか？玄海支部会員の経験や考えを結集して答えを導きだす例会です。

16日 18:00~21:00

東支部
4月例会

人は人によって磨かれ、役によって成長する。「人生の転機と役は必要ときにやってくる」

- ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
 - 船越 岩人氏 株式会社山幸蒲鉾 代表取締役(東支部)
- 役は人を育てるといいますが、皆さんは職場や参加している団体において様々な役職に就いた時にその役にどう取り組みますか？またその役から何を学びますか？様々な役職を経験することで、人間力を高め、自分を磨き、そして自社の経営に役職での学びを活かす。今回の例会は、役職に真摯に取り組み学ぶことで、人生を大きく変えた経営者の体験を報告して頂き、職場や地域・団体等において、役職がいかに人を育てるかを学んでみたいと思います。

16日 18:00~20:30

福博支部
4月例会

劇的な企業変革、そして未来へ 同友会で得た学びを取り入れて実践、自社と地域の未来を拓く。

- 天神テラホール 福岡市中央区渡辺通5-25-18 ☎092-732-4441
 - 前田 雅史氏 株式会社お掃除でつくるやさしい未来 代表取締役(中央支部)
- 順調と思っていた経営が、氏の長期入院と年配社員の交通事故による長期欠勤によりおかしくなる。氏は苦悩の日々のなか、山形で行われた青全交に参加。そこで得た学びを自社に落とし込み、実践することで劇的な変化が生まれた。自分はどうしたいのか？社員に何が出来るのか？地域とどう関わっていくのか？を真剣に考える機会にしましょう。

16日 18:30~21:00

ひびき支部
4月例会

右腕論~NO.2の在るべき姿とは？~ あなたには信頼できるパートナーがいますか？

- コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
 - 貴島 昇氏 株式会社上津役製作所 専務取締役(ひびき支部)
- H19年に同友会に入会し経営に携わる様になってから7年。H25年10月には専務取締役に就任した。当時常務だった後継者を支えながら二人三脚で経営改善・社員共育に取り組んできた経験と心に秘めた想いは？今直面している課題や今後の展望について報告して頂きます。

16日 18:30~21:00

南支部
4月例会

新会員歓迎の集い

- TKP天神シティセンター
福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
 - 松井 竜介氏 陽なた法律事務所 代表者(南支部)
- 2013年度入会の新会員さんの歓迎会です！2013年1月に入会された松井氏の報告「同友会に入会して、学んだこと」や、ブロックごとの新会員さん他ご紹介などもございますので、新会員の皆様もベテラン会員の皆様も奮ってご参加ください!!

16日 18:30~21:00

博多支部・糸島支部
合同4月例会

これから10年の経営を考える 情勢認識と変化に対応する企業づくりを

- 福岡ビル 9FホールB 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
 - 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長(筑豊支部)
- 消費税率引き上げ、少子高齢化や人口減少、為替変動、消費者志向の変化、エネルギー問題など、経営者はめまぐるしく変化する経営環境を認識し、対応していくことが求められます。情勢認識の重要性と情勢に対応する企業づくりについて学ぶとともに、現在の情勢についても学び、自社の戦略・戦術を考えるヒントとします。

自社商品・サービス紹介 絵届け問屋「kousuke」 代表者 おおた しんすけ 太田 信介氏 (博多支部)

絵画での仕事づくり



絵届け問屋「kousuke」は、障がいをもちながら絵を描くアーティストの、経済的自立支援を目的とした事業です。

私の弟(自閉症の画家 太田宏介)を中心に、全国の絵画展企画と福岡県内で絵画レンタルを行っています。

障がいの有無に関係なく、絵画で生活出来る人は一握りの状況の中、障がいをもちながら絵を描く人は多いです。障がいをもつ方の絵画は、「うまく描こう!」「高く売ろう!」という気持ちがなく、素直に表現されて、見る人に明るさと元気を与えてくれます。

弟は11歳で絵画教室に通い始めましたが、始めは5分も座る事ができず、線を描くのに1年かかり

ました。ただ、作品が出来上がるとまわりの皆様から褒めていただけようになり、絵を描く事が、次第に弟自身の生きがい・やりがいに変わって来ました。現在32才の太田宏介は、1mを超える絵を描くにしても、下書きをせずキャンパスに直接描きます。

迷いがないので線に力強い生命力が生まれ高い評価をしていただいています。

私は、「弟の絵を日本全国そして世界中の方々に見てもらいたい」との想いで、2年前に15年勤めた会社を脱サラし、起業しました。

5月には福岡アジア美術館にて、KBC主催の【自閉の画家 太田宏介 22年の軌跡】を開催(福岡同友会名義後援)。同月に東京銀座にて2年連続となる個展。2015年にはニューヨークでの個展を予定しています。

福岡県の障がい者平均月額工賃(就労継続支援B型事業所)は、約15,000円です。とうてい事業所だけの工賃では自立できる金額ではありません。私は弟に200,000

円を超える工賃を早く払えるようになりたいと思っています。それは弟自身の社会人としての自立の為にしなければならぬことです。

そして、弟が200,000円を超える収入を得てからは、第2・第3の障がいの者のアーティスト発掘に努めて、障がいをもちながら芸術を志す方の仕事をしていき、社会に貢献できればと思っています。同友会で先輩方から教えていただいた、「創業時の想いを忘れず大切に」を肝に銘じ大事にして、さらなる仕事づくりをしていこうと思っています。



作品名「白いトルコキキョウ」



作品名「クルマエビ」

絵届け問屋「kousuke」

〒811-2232 糟屋郡志免町別府西3-3-16 608号
TEL・FAX 092-410-3850

<http://www.ohta-kousuke.com>

2013年度 第10回理事会報告

■ 日時：2014年2月26日(水) 15:00～18:00
■ 出席：42名(欠席11名) 出席率77.8%

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 302会議室
■ 議長：貞池副代表理事

承認・確認されたこと

- 1 中小企業をとりまく情勢の記述と今後の課題
次年度以降の情勢討議の時期と運動方針検討の流れの確認
情勢を来月提案・協議することを確認
- 2 第24回経営者フォーラム 意義・目的を確認
- 3 仲間づくり本部
(1) 仲間づくり本部会議は、正副代表理事会の中に設置する(次年度)
(2) 地区会においても、仲間づくり推進部を幹事会の中に設置する(次年度)
(3) 今年度末までに会員数を2100名とし、来期は、2300名の目標を達成する 以上を承認
- 4 役員交代 2014年度の一部役員交代を承認
- 5 総会の設営 参加目標数240名を確認
- 6 透明の封筒で月刊同友を発送することを承認
- 7 会員資格および会費等に関する規定の変更について提案があり、承認。自然退会⇒退会未収金について、早めの全納の依頼
- 8 個人保証問題、金融機関の対応 情報があれば事務局まで
- 9 第46回定時総会参加目標は25名、女性経営者全国交流会参加目標は8名を確認
定時総会は、2つの分科会の企画担当予定
- 10 役員研修会
中同協役員研修会3月7日(金)開催案内。九州沖縄ブロック支部長・支部役員研修会は5月23～24日

に沖縄で開催予定

- 11 法人化に関する質問、意見への回答内容を承認
- 12 除籍申請3名、退席1名を承認

要請事項

- 1 ビジョン委員会勉強会：3月29日開催案内
- 2 共育委員会勉強会：3月22日 映画「かすかな光」上映案内
- 3 バリアフリー委員会：3月11日(火)勉強会開催案内
- 4 同友すばる委員会：4月5日(土)事業承継塾開催案内
- 5 青年部連絡会：3月13日(木)例会開催案内
- 6 青年支部フレンドシップフェスティバル：4月13日(日)開催案内
- 7 女性部勉強会：2月28日(金)開催案内

報告事項

- 1 対外的な要請事項(抜粋)
(1) 九州情報大学より「平成26年度キャリアデザインI教育計画」講師要請
(2) 福岡財務支局「消費税転嫁対策等」に関するヒアリング先紹介要請

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2013年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

アベノミクス成功の鍵は、女性の活躍

2月28日(金)都久志会館で、女性の活躍推進福岡県会議の顧問である麻生 渡氏(前福岡県知事)をお招きし、女性部委員会の勉強会が開催されました。

昨年10月、福岡同友会では内閣府と同友会、その他の関係機関の共催で「女性活躍推進を考えるシンポジウムin福岡」を開催し、企業経営における女性の活躍について深めてきました。今回の勉強会は、政府の政策にも詳しい麻生氏にこれからの日本を大きく語っていただき、政府の成長戦略の中核でもある「女性の活躍」をさらに深める目的がありました。

報告では、人口減少の推移や主要大学での男女比率などが説明され、企業において優秀な人材の活用、多様な人材を活かしていくには、経営戦略のなかに女性の活躍を位置づけ、取り組んでいくことが必要であると報告されました。

参加者からは、

- 女性に対する社会での意識を変え、エリア限定の営業職を増やすなど、働きやすい環境整備が不可欠だと考えました。
 - 男性の理解と協力の中、女性の力を活かせる社会創りができたらと思います。
- という、感想が挙げられました。



総勢67名の会員、ゲストの方々に参加されました

- 男性参加者数(会員22/47名、ゲスト7/20名)
- 女性幹部社員について(アンケートより)
～回収39社のうち19社(49%)が「いる」と回答



福岡同友会

Webサイトリニューアル

第1弾!

福岡県中小企業家同友会では、会員の皆様が県Webサイトを通じて支部や委員会の活動を知り、また県内の会員以外の経営者の方々に同友会の理念や活動を伝え、地域の新聞やメディアに向けた広報を通じて、同友会活動への理解と支援を更に深めて頂くことを目指して、長年に亘って会員の皆様からご利用頂いております県Webサイトをこの度リニューアルしました。今回の県Webサイトリニューアルの目的と概要は次の通りです。

リニューアルの目的

- ① 会員の拡大・・・非会員への情報発信
- ② 組織強化と会員定着・・・会員への情報発信
- ③ マスメディアでの報道と地域社会への認知度アップ・・・メディアへの情報発信



ホーム

リニューアルの概要

- ① 必要な情報へ簡単にたどり着けるように、デザインや掲載情報を見直しました。
- ② 経営者の悩みに適切に応えるために、トップページに7つの課題提起と解決策を掲載しました。
- ③ 会員同士の経済交流を促進するために、会員企業のPR情報を掲載しました。
- ④ 同友会活動への理解と参加を促進するために、会活動のPR情報を掲載しました。
- ⑤ 同友会活動の対外PRのために、会員以外にも参加可能なイベント情報を掲載しました。
- ⑥ お問い合わせや入会申し込みを促進する仕組みを、同友会活動の紹介ページに設置しました。
- ⑦ 広報部・情報部・報道部の三位一体の活動への取り組みの情報を掲載しました。



7つの解決策



ゲスト向け

今回のWebサイトのリニューアル公開が迎えられるのも、検討開始から1年半近くに亘って、情報部以外の部署からも沢山の仲間から色んなお知恵を頂いたお陰です。

これからも会員の皆様のお役に立てるWebサイトを目指して内容の充実を図ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

広報情報化推進本部 情報部